

「365日フォトコンテスト」

[入賞者に学ぶ夏]

応募作の力

夏を彩る光

夏の夜を彩る光。その対照的な美しさを写し取った2枚です。花火の光は夜空に大きく広がり、多くの観客たちを楽しませてくれます。螢が見せる小さな光からは、命の力強さを感じます。職人が花火を丹誠込めてつくっても、螢が1年を水中で過ごしても、地上で光っていられるのは一瞬だけ。私たちに感動を与えてくれるのは、その儂さなのかもしれませんね。



「花火見物」

田中昭三さん(広島県)

山口県岩国市の「錦川水の祭典(錦帯橋花火大会)」の写真。12万人の見物客が花火に見入る様子を、川の中に腰まで浸かった状態で撮影しました。水流の急な川だったので、重量級の三脚を使用。画面手前に写る赤い浴衣着の少女の立ち姿が、いいアクセントになりました。

①キヤノンEOS-1DX、②16-35mm F2.8L、③F16、④バルブ40秒、⑤三脚使用、
⑥山口県岩国市、⑦2012.8.4

「365日フォトコンテスト」が
JAPAN PHOTOに
名前を変えてリニューアル

PCC主催の「365日フォトコンテスト」は、応募総数が約10万点を超える全国最大規模のフォトコンテスト。この「365日フォトコンテスト」が「JAPAN PHOTO」と名前を変えました。募集テーマは変わらず、プロの写真家が全応募作品を審査しています。「JAPAN PHOTO」の上位入賞作品は、本誌や『フォトコンライフ』(双葉社)で随時掲載します。詳しくは→P.26

「『スイーツ』と天まで昇れ!」

林昌尚さん(福井県)

自宅の裏庭で撮影した螢の写真です。ドクダミの花にとまっていました。シャッタースピードを13秒にして螢を捉え続け、「スイーツ」と飛び立ったあとの光跡を撮影しました。螢と光跡の両方を残したいときは、フラッシュを炊くのがポイントです。

①キヤノンEOS 6D、②100mmマクロ、③F5.6、④13秒、
⑤三脚使用、⑥福井県越前市、⑦2013.6.14



想いの伝わる写真が作品になる

全国6万5000人の会員、6万5000通りの写真の撮り方、写真への想いがある。

写真で人生を輝かせている人をピックアップする「PCCのいぶし銀」。

今回は、フォトインストラクター・園田法文さんに話をうかがい、写真を撮り始めたきっかけや、撮影術を語ってもらった。

園田先生と撮影しながら
学べる講座は→P.34

今月の
いぶし銀



園田法文さん

「写真は、撮る人の人柄が見えるものだと思います。だから自分のやり方で撮影することを心掛けています」



まるで人間がもつ、自然への尊崇の念を表現したような1枚

①ニコン D700、②16-35mm、③F7.1、④1.3秒、⑤ISO200、⑥-0.3、⑦熊本県鍋ヶ滝

朝の三時に福岡市内の自宅を出発し、約二時間車を走らせた。到着したのは、大分と県境にある熊本県阿蘇郡小国町にある鍋ヶ滝。落差9m、幅20mのこの滝は、内側の岩は撮影を開始した。

しかし、この日は少し様子が違った。いつもなら滝のまわりに三脚を構える人が何人かいが、今日は静寂に包まれ、園田さん以外にシャッターレーを切る人はいなかった。「お盆休みの初日だったから

が洞窟のように削られ、裏側からも見ることができます。ひとときの憩いを求めてやってくる人も多い。

その空気感を見事に写し込んだ一枚は、まるでまわりの緑や空の色、陽の光などに染められた絹の糸が、何本も水面へ吸い込まれていくようだ。

「通常、糸のように水流を撮る場合、2~3秒にシャッターレートを設定することが多いのですが、この滝は水が落ちる土地の形状によってなのか、1~3秒のシャッターレートでも、十分に撮れました」

写真を本格的に始めたのは、十数年前。それまで仕事上、建築物の完成写真を撮ることはあったが、自分からカメラを手にすることはなかった。ところが、ある日園田さんの写真を見たクリエイターの友人から「やってみたら」と勧められた。想像もしなかった言葉に半信半疑ながら、軽い気持ちで撮影に出かけたのがきっかけとなつた。

「最初はテーマを友人に決めてもらい(笑)、撮った写真はすべて感想を聞きました」

でしようか。二時間ほどいたと思いますが、誰も来ませんでした。何とも幸運な時間を過ごせました」

まさに一から手探りで始めた写真撮影。いまでは最適な撮影時間把握するため、コンパスを持って事前に撮影地を訪れ、太陽の位置を確認するまでになつた。

「写真は、撮る人の人柄が見えるものだと思います。そして撮影者のこだわりや想いが伝わってきてこそ、ひとつのお品になるのです。だから自分のやり方で撮影することを心掛けています」

そんな園田さんの視線は、新たなる方向を見据えている。「これまで水のある風景を中心にして、そのままの自然の姿を撮っていましたが、これからは自然と人間が共有している、あるいは共存している写真にチャレンジしたいです」



園田さんが表現する“夏らしさ”
①ニコン D700、②70-200mm、③F2.8、④1/160秒、⑤ISO200、⑥±0、⑦福岡県朝倉市